

1. SAMPE Journal 2016年09/10月号をお届けします。

本号は、Thermoplastics と題した3大特集(1.1~1.3)となります。

1.1 Orthogrid 配置の熱可塑基材による航空機の胴体構造 (p7~15)

オランダのFokker社が開発中の、熱可塑性材料を用いた航空機胴体の製造法を紹介。

現在の航空機の胴体には、ファスニングが多用されているが、本研究ではスキンとストリンガーを直接、ロボット溶着する新接合方法の簡素化・胴体製作のコスト削減を目指した内容を掲示。

1.2 複雑形状のヘリコプターの金属製フェアリングリブから熱可塑性複合材不連続長繊維 (DLF) の置換え (p28~35)

航空機の複雑形状部の金属部品から非金属の置換えとして DLF が費用対効果のある実行可能な選択肢として考えられている。Green Tweed & Co. では熱可塑性材料の炭素繊維 (PEEK の DLF) をプレス成形し、リブの構造応答や欠陥部の予測に使われている材料構造のマルチスケール解析により得た研究結果を掲示。

1.3 ハイブリッドプロファイルによる製造：熱可塑性 (表層) と連続繊維強化熱硬化性 (内部) の成形品のプロファイル (p48~56)

プロセス設計や型技術を最適化し、熱硬化と熱可塑性材料による連続したプロセスに基づいた引抜成形と押出成形の組合せを確立するため、RWTH Aachen 大学がプロセスパラメーターと成形品の特性について研究した結果を掲示。

1.4 今月号の日本地域本部 (p20)

第6回技術情報交換会と、SAMPE LongBeach で行われた Bridge コンテストの報告となっております。

2. 日本地域本部活動

京都国際会議 2016 (JISTES2016 Kyoto) が7月14日(木)~15日(金)、同志社大学にて開催されました。この結果報告は、次号に掲載させていただきます。

3. SAMPE イベント予定 (会期順)

3.1 SAMPE Europe (p44) : 9月13日~15日 Liege, Belgium

<http://www.sampe-europe.org/conferences/liege-2016>

3.2 CAMX 2016 (p60~110) : 9月26日~29日 California, America <http://www.thecamx.org/>

3.3 SAMPE Brazil (p119) : 11月8日~10日 Sao Paulo, Brazil

http://www.tecnologiademateriais.com.br/mt/2016/mala_sampe/en/chamada/chamada_sampe_en.html

3.4 SAMPE Seattle 2017(p43): 5月22日～25日 Washington, America ※アブ締切日: 12月1日

<http://www.nasampe.org/event/id/621210/SAMPE-Seattle-2017.htm>

【 SAMPE 日本地域本部 】 <http://www.sampejapan.gr.jp> 【 SAMPE 本部 】 <http://www.sampe.org/>
担当 (倉谷) e-mail : kado@kado-corporation.com